

高齢者交通安全

いきいきキャンペーン2023

募集要項

☆参加資格

千葉県内にお住まいの65歳以上の方

※運転免許証の有無は問いません。

※警察職員から交通安全の話を聞く必要があります。

☆参加費

無料

出掛ける時は反射材
を着用しましょう！

☆参加申込期間

令和5年4月1日～令和5年8月31日

☆無事故認定期間

令和5年9月1日～令和5年12月31日

☆申込場所

県内の警察署交通課窓口等

※申込時間は、平日の午前9時から午後4時まで

☆交通安全賞

無事故認定期間中に交通事故の当事者とならなかった方に、抽選で「3,000円相当の商品券」を贈呈します。

☆当選通知

当選結果は、当選者の方のみに通知させていただきます。

※個人情報、本キャンペーンの実施に関する事務においてのみ使用するものとし、交通安全賞贈呈後に廃棄します。



歩いて外出する方へ

安全に道路を歩くためのポイント

通り慣れた道でも油断せずに外出したら車に十分注意しましょう!



遠回りでも信号機のある場所や横断歩道を渡りましょう!



信号が変わりそうな時は、次の青信号まで1回待ちましょう!

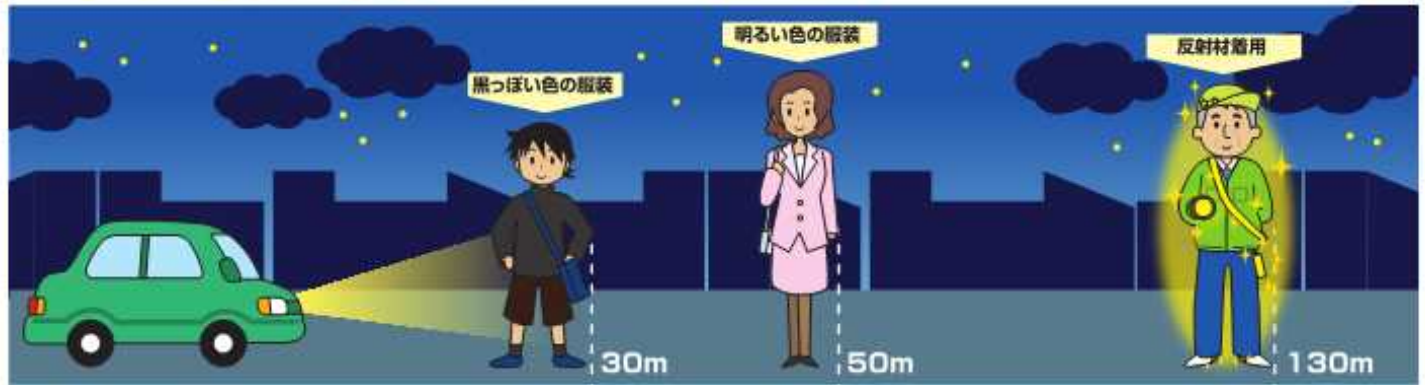


道路横断中は車の動き(特に左からの車)に注意しましょう!



反射材着用促進キャッチフレーズ

キラリアップ★ちば ~ 反射材 つけて輝く その笑顔 ~



※夜間、運転者から歩行者が見える距離は、衣服の色や反射材着用の有無により変わります。

反射材を着用することで、自動車運転者からの視認性が向上し、あなたの存在をいち早く知らせることができます。(自宅に反射材が眠っていませんか?)

夜間は
明るい場所を
選んで
歩きましょう!



個人差はありますが、年齢を重ねると身体機能・認知機能は低下します!
外出するときは、体力や体調に応じた無理のない行動を心掛けることが大切です。

車を運転する方へ

「はればれ運転」でいこう!

はればれ運転とは、「危険を避けるため、運転する時と場所を選択し、運転能力が発揮できるよう心身及び環境を整え、加齢に伴う運転技能の低下を補うような運転方法を採用すること」をいいます。

※はればれ運転は、千葉県独自の名称となります。警察庁では「補償運転」として推進しています。

雨の日は、視界が悪いから、運転は晴れた日にしよう。

体調が悪い時は運転をやめてタクシーなどを利用しよう。

長距離運転はやめて、運転は近所のスーパーや病院までにしよう。



自転車を運転する方へ

★交通ルールを守りましょう

自転車も「車両」です。

止まれの標識がある所では必ず一旦停止し、安全確認をしましょう。

★ヘルメットを着用しましょう

自転車乗用中の事故で亡くなる原因の多くは、頭部への怪我です。大切な命を守るためにもヘルメットを着用しましょう。

★リフレクター（反射器材）をつけましょう



夕暮れ時からモノは見えにくくなります。いち早くあなたの存在を周りに知らせるため、リフレクターをつけましょう。



★自転車保険に入りましょう

千葉県では、自転車保険の加入が義務となっています。事故の際にあなたと被害者を守るため、必ず加入しましょう。

安全運転相談ダイヤルのご案内

加齢に伴い、視野障害や筋力の衰えなど、身体機能が低下すると、運転操作のミスへとつながり、交通事故を引き起こす可能性が高まります。

病气や認知機能の低下等で運転を続けることに不安を感じたら、下記の安全運転相談ダイヤルへお電話ください。



安全運転相談ダイヤル 

8 0 8 0

シャープ ハ レ バ レ



- 受付時間は原則として平日 午前9時から午後4時までとなります。
- 携帯電話を利用して都県境で通話した場合は、千葉県警察以外の運転免許担当部門に繋がる可能性があります。(#8080 は、全ての都道府県で利用できます。)
- 通話料は利用者の負担となります。

サポカーのご案内

セーフティ・サポートカー（サポカー）は、ブレーキとアクセルの踏み間違い事故を低減したり、衝突被害の程度を軽減することができます。



サポカーの先進安全技術は、安全運転の支援であり、機能には限界があります。

運転免許自主返納のご案内

運転免許を自主返納した方に対する様々な支援があります。詳細は、千葉県警察ホームページや運転免許センター、警察署窓口等で確認できます。



【お問合せ】.....

最寄りの警察署、または、千葉県警察本部交通部
交通総務課高齢者交通安全対策係 電話 **043-201-0110** まで



オレオレ詐欺に狙われやすい！ **タンス** 預金



自宅で現金を保管するいわゆる「タンス預金」はいざというときすぐに使える利便性がある一方で、周囲の人による声かけで被害の防止が難しく、現金の準備が容易にできるため、犯罪に狙われやすい。



必要以上に現金を自宅に保管しない・自宅にお金があることを他人に教えない